



この汗は 今しか流せない 築瀬魂

6月1日(日),雨天順延による令和7年度運動会を実施しました。6年度から開会の時刻を早めましたが,今年度も多くの御来賓の皆様,地域の皆様,そして御家族の皆様にお越しいただきまして,ありがとうございました。今年も!ドラマチックな展開となりました。結果は,白組が大逆転。雪辱を果たし優勝しました。最終得点は白組639点,赤組638点の1点差でした。私たちが確認できた得点では赤組が約30点リードしていましたが,その時点以降の個人と団体の数種目で白組が逆転していたようです。最後の代表リレー男子は赤が勝ちましたので,多くの方が赤組の優勝を想定していたことと思います。担当の職員も,3回,得点計算をし直したそうです。運営面では「運動会実行委員会」が活躍してくれました。運営側ですから活動は花形でなく,いわゆる縁の下の力持ちです。委員たちは誇りをもって取り組みました。さて,学校行事は子供たちの大切な思い出になるとともに,学校としては,子供たちの自己肯定感の更なる高揚に向けた活動としても考えています。そこで,今回の運動会では「本番に強くなる」を目指し,「練習でできないことは本番でもできない。だから練習は本番のつもりで真剣に取り組もう。」を伝えてきました。行事後の振り返りのほんの一部を御紹介します。下学年生は「最後まであきらめないというめあてのために練習を頑張った。」「練習を頑張ったので元気っ子体操が上手にできた。」「だるまさんを落とさずに運べた。」上学年生は「練習は頑張ったが,本番ではアクシデントがあった。来年に生かしたい。」「小学校最後の運動会,全力を出し切った。」「係の本番は練習の10倍速くてびっくりしたけど,みんな柔軟に対応してすごいと思った。」「個人走の最後の方であきらめてしまったので,少し悔いが残っています。」などが挙がりました。そして,旭中学校からボランティアとして生徒さんに助けていただきました。児童たちは「自分も中学生になったら,あんなふうになる。」と感じたはずです。母校のためにという「心意気」に感謝です。旭中学校も本番に強かった。閉会式後は,参観された保護者及び地域の皆様に,片付けのお力添えをいただきました。年齢層を問わず,互いに息の合った見事な手際のよさ,チーム力が伝わりました。保護者も地域も本番に強かった。(ファインプレー!)



行事を成長の機会に

運動会のような学校行事は、所謂非日常です。その非日常の本番成功に向け、練習を積み重ねる中で「くじけそうになったり」「重圧に押しつぶされそうになったり」「友達に励まされたり」しながら、子供たちは確実に成長していくものだと考えています。学校としては、一人一人が成長するチャンスと捉えて取り組んでいます。前項の上学年生の振り返りでは「うまくいかなかった部分」が挙げられています。それは、成長とともに、より高いクオリティを求めることができるようになるからだと思います。そして、次に生かそうと考える。こうやって、うまくできた自分、うまくいかなかった自分も受け入れ、少しずつ少しずつ自己肯定感を高めながら確実に成長していくのだと思います。そして、成長に気付かせるために事後の振り返りにも力を入れて取り組んでいます。

そのようなわけで、実行委員長、各団長に振り返りをしてもらい、自分の成長についてうかがってみました。

【実行委員長】運動会の成功に向けて一人一人が頑張っていることが、行動から伝わってきました。みんなに「お疲れさまでした。」と言いたいです。自分は、委員長としての責任感をすごく感じながら、頑張ることができました。

【白組団長】実は、家でイメージトレーニングを繰り返しました。そのおかげで応援合戦はうまくできたと感じています。練習は大切だと思いました。白組のみんなには「最後まで頑張ってくれてありがとうございました。」と伝えたいです。

【赤組団長】団長に志願したけれども、すごく不安でした。自分も家で本番と同じように大声で練習していました。応援合戦はうまくできたと思っています。また、団員から励まされたこともありがたかったです。赤組のみんなには「一人一人の声が出ていてとてもよかったです。ありがとうございました。」と伝えたいです。



いじめゼロ強調月間が終了



やさしさ貯金箱（令和7年5月31日まで）



令和7年度第1回目の「いじめゼロ強調月間」が終了しました。プロジェクトとして1か月間実施した「やさしさ貯金箱」を振り返ってみます。やさしさ貯金の合計は「381」となりました。デジタル版からの投稿が多くを占めるようになりました。やさしさ貯金の内容ですが、クラスや学年の友達へのありがとうや学年を超えたありがとうも多く見受けられました。とりわけ、内容が具体的に表現されていることがこれまでと違った部分です。日常のかかわり中で、子供たちは、たくさんの感謝の心をもっていることが伝わりました。

○運動会の練習で場所がわからなくて不安だった時に、場所を教えてくれてありがとう。

○理科の時に黒板が見えない時に、ノートを見せてくれてありがとう。

○給食の時、歯磨きをする前に机を片付けてくれてありがとう。

○掲示物が見えなかったときに「ここいいよ」って譲ってくれてありがとう。

○カレンダーのやつが遅れていて困っていたときに「手伝うよ」と言ってくれてありがとう。めっちゃ嬉しかったです。

○リコーダーを落としてしまった時、椅子の下で取ることが難しかったらすぐ取ってくれてありがとう。

人のやさしさを感じ、感謝の心を伝えようと表現できることが素敵です。やさしさは必ず伝播すると信じ、引き続き、いじめのない環境づくりに取り組んでいきたいと思います。そして「いじめは、いつでも、だれにでも起こりうる」との認識のもと、風通しのよい関係づくり、そして適切な対応に努めていきたいと思います。

保護者及び地域の皆様には、6月も本校教育活動に対し、お力添えくださいますようお願いいたします。